

事 務 連 絡
平成 1 8 年 8 月 7 日

都道府県労働局労働基準部
労災補償課長 殿

厚生労働省労働基準局労災補償部
補償課職業病認定対策室長補佐

石綿による肺がん及び中皮腫の処理経過簿（労災保険法分）について

標記処理経過簿については、平成17年9月7日付け補償課職業病認定対策室長名での事務連絡により、各局において作成され、更新が行われているところですが、今後の円滑な集計作業を目的として、別添様式に変更することといたします。

つきましては、本年7月末までの各局管内における、労災保険法に係る石綿による肺がん及び中皮腫の請求書の受付、他の労働基準監督署（以下「署」という。）への請求書の回送、他の署から回送された請求書の受付及び支給・不支給決定・取下げの状況について取りまとめた上で、従来から使用している様式に入力し、8月15日（火）までに労働基準行政情報システムの都道府県掲示板に掲載するようお願いいたします。

右期日までに各局により掲載された処理経過簿について、本省において別添様式にデータを移替える作業を行い、順次、移替えた後の様式（電子ファイル）を労働基準行政情報システム上の電子メールにより各局労災補償課長あて送付しますので、以後は送付を受けた様式を更新するようお願いいたします。

7月末までの分を入力後、本省より移替えた後の様式の送付を受けるまでは、各局における更新作業は一時停止してください。

なお、変更点は、従来から使用している様式の入力項目を一行に並べたことにあり、入力項目及び入力に当たっての留意事項については追加・変更が無いことを申し添えます。

記載に当たっての留意事項

- (1)「疾病名」欄については、次のコードに従い記載すること
肺がん:1 中皮腫:2 その他:3
- (2)「業種」については、労災保険率表の事業の種類を記載すること。
- (3)「請求年月日」欄及び「決定年月日」欄は、それぞれの給付の種類毎に最初に請求がなされたものについて記載すること。
数字と数字の間にスペースを入れたり、「・」を使用したりせず、エクセルにおける日付として入力すること。
- (4)「(業務)上・外」欄については、次のコードに従い記載すること。
業務上:1 業務外:2 取下:3 回送済み:4
- (5)「業務外の理由」欄については、次のコードに従い記載すること。
労働者非該当:1 認定基準非該当:2 時効・その他:3
- (6)「医学的所見等」欄については、次のコードに従い記載すること。
石綿肺所見有り:1 胸膜プラーク所見有り:2
石綿小体・石綿繊維有り:3 医学的所見等無し:4
- (7)「作業従事期間」欄については、原処分庁で認定した被災労働者が従事した全ての石綿ばく露作業の合計期間を記載すること。
- (8)調査の結果、所轄が異なるため回送した場合には、「備考」欄に、回送年月日、回送先の局署名を記載すること。
また、回送を受けた側は当該石綿労災事案の処理経過簿を登記の上、各項目の内容を記入するとともに、「備考」欄に、回送を受けた年月日、回送元の局署名を記載すること。
- (9)「備考」欄には、上記(8)以外に以下の例を参考に特記すべき事項を記載すること。
例 1. 他の事業におけるばく露歴を〇〇年から有する。
2. 当初じん肺で療養していたが、〇〇年から中皮腫で療養。